

# 踏み跡 <My Mountains>

広島	弥山(宮島)	No.311
----	--------	--------

初めての広島の旅が実現した。三日間の旅の中の半日を使って宮島に渡り、ついでに主峰弥山（みせん）に登って来た。海拔 530m 程度の山ではあるが、島全体が山になっており、海岸線から立ち上がり海岸線に落ちる稜線からは絶えず海が眺められる、本土にはあまりない景観の山である。不思議なことだが、弥山（みせん）という山名は、なぜか関東地区には見当たらないが、関西以西にはかなり存在する。

平成 20 年 7 月 15 日  
 羽田発 11 時 25 分、広島空港着 12 時 45 分。広島は快晴。  
 リムジンバスで広島バスセンターへ。昼食後平和記念公園・平和記念資料館及びその周辺を見学。シンガポールを思わせるような強烈な暑さと湿度には閉口したが、夕方には雷雨のおまけまで付いた。公園を清掃していたおじさんに話しかけたら「広島の夏はこれが普通、夜はもっと蒸し暑いよ」。夜は中町で静かな飲み屋を見つけて夕食。アナゴの塩焼きで飲んだ日本酒が最高だった。



平成 20 年 7 月 16 日  
 午前中に散歩がてら広島城まで行ってみようと思ったが、あまりの暑さに閉口して途中で退却。島に渡れば少しは涼しいのではないかと思い急遽予定を早めて宮島へ向かうことにした。  
 紙屋町西から広島電鉄（広電）に乗車。最新型車両の「グリーンムーバーmax」は連接車両で中はゆったりしている。車内には中国人・インド人・フランス人など外国人を含む旅行客が数多く乗っているし、車内の各種表示は複数の言語で示されている。町を歩いていても外国人の多さは東京以上で、広島が国際都市であることを再認識させられた。車内の表示を見ていたら「1 day Trip Card」という一日乗り放題（宮島の船を含む ¥840）のカードがあることを発見し、すぐに車内で購入。  
 原爆ドーム前・十日市町あたりまでは新しい広島を感じさせる景色が続くが、土橋を過ぎる頃から昔の神田界隈を思わせるような景色に変わってくる。西広島を過ぎると JR と並走するようになり、これまでの路面の敷石の上から専用軌道の枕木の上に変わるので、響きの音も柔らかくなる。  
 宮島口で下りると目の前が宮島航路の栈橋になっている。駅の売店で缶ビール（山の上で飲むのが目的）を買って栈橋へ。目の前の宮島までは僅かな距離なので座って落ち着いている必要もないぐらいにすぐに着いてしまう。  
 まずは拝観料（¥300）を払って厳島神社を見学。満潮になると海の上にせり出した舞台と化す造りは見事なものだ。見る角度によって様々な見え方が楽しめる。それにしても頭上からは太陽に攻められ、胸元辺りには海から上がって来る湿った空気が漂い、蒸し暑いことこの上なし。  
 宮島ロープウェイと書いた看板の指示に従って紅葉谷を進む。谷に入ると風がなくなるのでさらに蒸し暑い。紅葉谷川が大きくカーブする所を左手に急に登って行くとロープウェイの紅葉谷駅。この僅かな登りでドーッと汗が吹きだしてきた。ロープウェイは往復で 1800 円。終点は海拔 423m の獅子岩。頂上に向かって進む道は、所々に露岩もあり歩きにくい。海拔 500m 程度の山なのにかかなり険しい登りだし、紅葉谷の緩やかな上りとは違ってここの傾斜はきつい。頂上が近くなると岩の上に何匹もの猿がたむろしている。



## 踏 み 跡 <My Mountains>

南東側に大奈佐美島、小黒神島その向こうに能美島、間の巖島海峡に行く船がいくつもいくつも見える。



猿が沢山いると何となく怖い感じがする（申年生まれなのに）ので、距離を置いて獅子岩のピークで海を眺めながら用意した缶ビールをいただき、しばし休憩。海拔 500m 程度の山とは言え、海から急峻に立ちあがっている弥山は風や雨や潮の影響を強く受けて逞しい山になっているようだ。

元の道に戻って下りのロープウェイに乗り下山。寺社と売店を眺めながら栈橋に戻る途中で昼食。お好み焼き・アナゴ天ぷら・釜飯などの看板やポスターがどの店にも立っているが、この暑さではちょっと食べたくはならない。結局涼しそうな店を見つけてざるそばを食べた。

船で宮島口に戻り、まだ時間が早いで山陽本線に乗り岩国へ。錦帯橋などを見物してから日没後に広島に戻った。夜は中町を散歩しながら見つけた「ぶぎうぎ酒場」という店で夕食。

平成20年7月17日

最終日の朝、ホテルをチェックアウト後バスセンターのコインロッカーに荷物を預けて市内散歩。

MRT・LRTの導入が進んでいる広島で、広電の次に乗って見たいと思っていたアストラムラインの体験ツアー。一日乗車券（¥900）を買って終点までを往復した後で土産物探し。

昼飯は観音町でお好み焼きを食べて、夕方の飛行機で羽田に戻った。

以上

<追記>

本文は、弥山登山を中心に書いたものである。「広島の旅」全体の記録は「My ヒロシマノート」を参照。

<http://www1.u-netsurf.ne.jp/~TKOB/hirosima.PDF>